

一問一答方式による一般質問



にぎわいのある
まちづくり

高橋 光孝



問 岩沼市は工業団地の固定資産税比率が多いが、その工業団地では人材確保が大変厳しくなっている。働きやすい環境、安心して通勤できる環境づくりを応援すべきではないかと考えるが、工業団地の防犯灯、防犯カメラの数を伺う。

生活環境課長 市が補助し、設置された防犯灯と防犯カメラの数は、臨空工業団地で防犯灯が31基、カメラが8台、二の倉工業団地は、補助の実績がありません。道路照明灯については、臨空工業団地が46基、二の倉工業団地が6基です。

問 両工業団地は夜間の業務を行っているところも多い中、夜間は暗いところも多い。安心して通勤できるように防犯灯、防犯カメラを増やしていく考えはないか伺う。

市民経済部長 工業団地協議会から要望があれば、そのときに考えてみたいと思います。

航空券をふるさと納税に

問 2月定例会で提案した、仙台国際空港や航空会社等に協力をいただき、市内の飲食店や施設利用

券、バクテンの聖地巡礼などをセツトにした航空券をふるさと納税にする提言を検討したのか伺う。

商工観光課長 現在、大手航空会社の協力をいただきながら、市内のホテル宿泊券と航空券をセットにした返礼品の開発に向け、協議を行っています。

問 コロナ禍で苦しんでいる飲食店が多い中、業態変更や新たな試みとして、今ある資材や技術を生かすためにキッチンカーとお店の両立を行っているところが多くなってきた。飲食店などがキッチンカーによる営業を新たに始める場合に、市として助成を行っているかどうか伺う。

商工観光課長 キッチンカーに対する補助は、国の事業再構築補助金及び県の当該補助への上乗せ補助があり、さらに市として上乗せできる余地が残されているのであれば、財源について研究をしたいと思えます。

◎その他の一般質問
・森林と河川整備



市長の選挙公約と
政治姿勢

須藤 功



問 報酬30%カットについて、市民に対する選挙公約は、どう位置付けているか。

市長 公約とは、市民の皆さまと交わした約束だと思えます。

問 市長の報酬30%削減が先の議会で可決された。私は（条例が審議される）最終日に濃厚接触者で出席できず話が聞けなかった。なぜ出された条例を令和8年の任期満了までにしなかったのか。

市長 市民目線での徹底した行政改革を推進していくに当たり、まずは2年間という期限を設けて、しっかりと取り組んでいくという判断を行ったものです。

問 選挙公約は4年間だと思つ。まずは2年となると、違うのではないかと言う人がいる。残りの任期をどうするのか。その辺について確認をしておきたい。

市長 選挙公約は、全ての公約が4年間だというお話だと思えますが、公約の目的を達成した場合に、公約は継続をしなくてもいいという案件もあると私は認識しています。今回に関しては、行政改

革をしっかりと行い、期限を区切って2年間で行わせていただきたいと思います。それでも、もし行政改革がしっかりと達成できなかった場合は、報酬削減30%なりを考えた上で、改めて条例案を出させていただきますかと思えます。

2年限定は公約違反では

問 今の答弁では、4年間の削減はしない意向かと思う。行政改革というのは、あくまでも抽象的な話であり、数字はつそをつかない。30%削減は4年間という意味だと私は思う。先ほどの議会で提出した条例は、選挙公約に違反していると思うがどうか。

市長 市民の皆さまとお約束をした市長の報酬30%カットは、公約どおり規定した条例になっていると認識しています。また、そういったことを含めまして、前議会で条例をお認めいただいたと私は思っています。